

			2026年度		授業計画	
国際オートメカニク科						
時 期	1年後期	単元	実習	教科名	ステアリング・サスペンション	
科 目	自動車整備作業	教科書等 持参品	3級自動車整備士（総合）		発行日	2026年3月22日
総時限	30時限（48時間）				教科担当	教科担当
単位数	1単位					
1. 実務経験のある教員による授業科目 該当 非該当						
自動車整備士として、シャシ系統全般の整備の実務経験がある教員によりシャシの分解・組立・点検等について指導する。						
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）						
1. お客様の車両を取り扱う上での注意事項を理解させ、実際に気を使いながら取り扱うようにする。						
2. 工具選択の重要性を教え、常に的確な工具選択が出来るように意識させる。						
3. グループで作業をする際の危険性を意識させ、常に声かけが出来るよう意識させる。						
4. 安全で確実な作業を心がけさせる。						
5. 部品の整理・整頓の重要性を伝え意識させる。						
6. アライメント測定をすることで二級勉強時に苦手とする分野の理解を促す。						
3. 授業の到達目標（この授業を学ぶことで学生は何を理解し何が出来るようになるのか）						
実技試験（70点）、スピーチ（8点）レポート（9点）、ルーブリック（13点）の評価合計点が60点以上で教科履修とする。						
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）						
5. 準備学習						
6. 学修時間と単位						
1単位の修得に必要な学修時間の目安は、30～45時間の授業、および15～0時間の授業時間外学修（予習・復習・レポートなど）15～0時間である。						

2026年度

授業計画

国際オートメカニク科

時 期

1年後期

単 元

実 習

教科名

ステアリング・サスペンション

9. 安全（KYのため必ず授業内で説明）

番号	作業名	遵守事項	災害事例	チェック
	【ステアリング編】 工具使用時	・締め付け時や緩めるときは工具を引く方向に力をかける		
	エキゾーストパイプ取り外し時	・遮熱板にドアエッジモール（外品）を取り付ける		
	【サスペンション編】 リフト・アップ	・車両周辺の安全確認 ・リフトボタンの確認 ・昇降時の掛け声 ・車両には乗り込まない		
	部品脱着	・重い部品の脱着時は複数人での作業 ・リフト位置の適正化 ・工具の適材適所の指示		
	ミッションジャッキ使用時	・天板の平行度確認 ・床、天板のオイルの付着確認		
	コイル・スプリングの脱着	・スプリング・コンプレッサの取り付け状態を確認		
	車両乗り込み時	・ドアの開閉時に周囲の安全確認		

10. 授業レイアウト（写真の貼り付け可）

実習場	座学教室